

報 道 資 料

平成 18 年 4 月 15 日（土）

件 名 在日米軍の兵力構成の見直しに関する日米協議の状況について

概 要 本日、国（広島防衛施設局）から岩国市に対し、本件における岩国飛行場に関しての説明がありましたので、下記のとおりお知らせします。

記

1 国からの説明内容（電話による）

これまでの日米審議官級協議において、岩国飛行場に関し、米側との間で以下の基本的考え方で実質的に合意した。

- ① 現在、普天間飛行場に所在する空中給油機KC-130（12機）を岩国飛行場に移駐。ただし、KC-130はローテーションで海上自衛隊鹿屋基地やグアムに展開
- ② 現在、厚木飛行場に所在する輸送機C-2（2機）を、空母艦載機とともに岩国飛行場に移駐
- ③ 現在、岩国飛行場に所在する海兵隊ヘリコプターCH-53D（8機）を在沖海兵隊司令部とともにグアムに移駐

防衛施設庁としては、今後、できる限り早く地元の皆様に御説明し、御理解と御協力を得たいと考えている。

2 岩国市長職務執行者のコメント

「本件については日米審議官級協議において基本的考え方で実質的に合意したとのことであるが、地元自治体との協議もなく一方的な話であり、その点については誠に遺憾である。これまで国から説明を受けていた、いわゆる中間報告の内容の大きな変更であり、新しい話も出てきている。いずれにしても、後日、詳細な説明があると聞いているのでそれを聞くことになる。」

岩国市総合政策部基地対策課

Tel 0827-29-5024（直通）